

# カラスのごみ被害に関する研究

自然・環境マネジメント研究部 生態研究グループ

布野 隆之



カラスのごみ問題を解決するには「カラス対策」が不可欠です。しかし、地域の中には「カラス対策を行っていない場所」があります（図1）。なぜ、カラス対策を行わないのでしょうか？

今回の研究事例では、道幅が狭く（写真1）、町に及中するカラス対策（写真2）を適用できないことが要因でした。左記の要因を踏まえ、現在は、新たなカラス対策（写真3）が導入され、ごみ被害は激減しました。

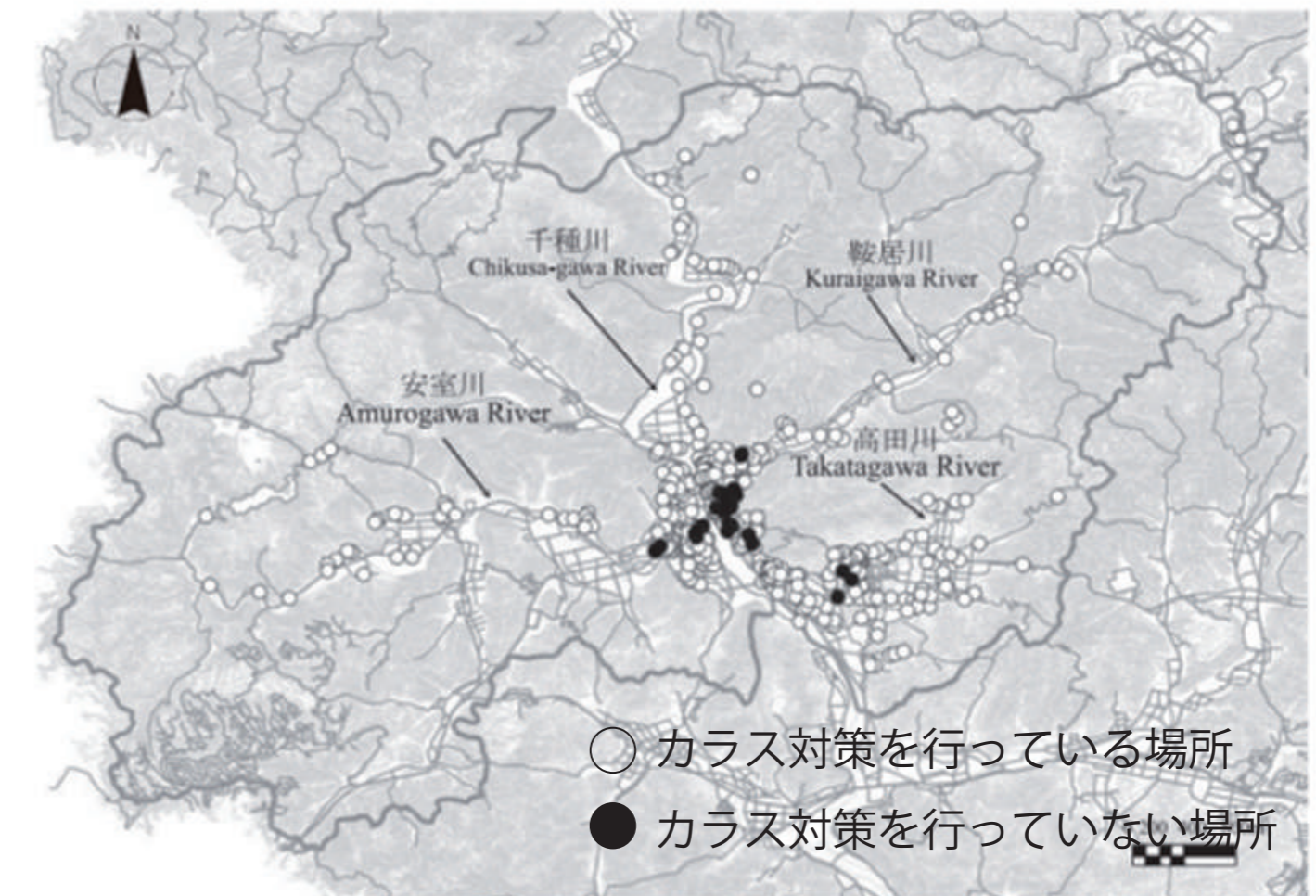


図1. 「カラス対策を行っていない場所」の分布。町の中心地に未対策が目立つ



写真1. 町の中心地。道幅が狭い。



写真2. 町中に普及しているカラス対策。大型のボックスタイプ。狭い道には不向き



写真3. 新たなカラス対策。折りたたみ式。狭い道にも設置可能。